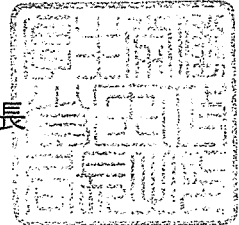




医政発第1022002号
平成20年10月22日

各 都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長



病院における吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査
に係るフォローアップ調査について（依頼）

病院におけるアスベスト（石綿）対策については、従来より適切な対応をお願いしてきたところですが、総務省行政評価局からのアスベスト対策に関する調査結果に基づく勧告及びアスベストのうち一般的に使用されていないとされていたトレモライト等が建築物の吹付け材から検出された事例を受け、先般、患者等の安全対策に万全を期すため、「病院における吹付けアスベスト（石綿）対策の徹底及び使用実態調査の実施について」（平成20年5月1日医政発第0501015号）により使用実態調査（以下「使用実態調査」という。）をお願いし、平成20年9月11日にその調査結果を公表するとともに、「病院における吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査の公表及び今後の対応について」（平成20年9月11日医政発第0911001号）において、今後の対応についての管内病院に対する指導及び使用実態調査で分析調査中であった病院等のその後の状況の報告をお願いする旨連絡したところです。

つきましては、使用実態調査において、分析調査中の病院、ばく露のおそれがある場所を有する病院で措置状況が措置予定又は未定の病院等のその後の状況について、別紙実施要領に基づき、フォローアップ調査を行い、平成20年11月14日（金）までに電子媒体（メール）にて厚生労働省医政局指導課まで提出していただくようお願いいたします。

なお、フォローアップ調査の結果については、使用実態調査で公表した事項に加え、「ばく露のおそれがある場所を有する病院」で措置状況が「措置済」、「措置予定」又は「未定」である病院等について、その病院名等を公表する予定としておりますので、その旨を該当病院に周知いただきますようお願いいたします。

さらに、吹付けアスベスト（石綿）等の損傷、劣化等によるアスベスト（石綿）等の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがある場所を有する病院に対しては、先の通知でも申し上げているように関係法令等に基づき適切な措置を講ずるよう、重ねて指導方お願いいたします。

病院における吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査
に係るフォローアップ調査実施要領

1. 調査の対象等

(1) 分析調査中及び調査未回答病院の状況

① 平成20年5月1日付医政発第0501015号医政局長通知によりお願いしました「病院における吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査」（以下「使用実態調査」という。）において、アスベスト分析調査中の病院及び調査未回答の病院のその後の状況について、新たに病院で作成される別紙様式1を踏まえ、別紙様式2を作成し提出して下さい。

なお、未回答の病院については、その個別病院名についての公表も予定しているので、その旨を該当病院に周知され、重ねて本調査に協力いただけるよう依頼方お願いします。

② 使用実態調査数と今回のフォローアップ調査数の新旧比較について、別紙様式3を作成し提出して下さい。

③ 上記①の、その後の状況の回答でアスベスト（石綿）の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがある場所を有することが判明した病院については、病院で作成される別紙様式4を踏まえ、別紙様式5を作成し、そのうち新たに措置済みとなった病院については、別紙様式6を作成し併せて提出して下さい。

(2) ばく露のおそれがある場所を有する病院の状況

① 使用実態調査において、アスベスト（石綿）の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがある場所を有する病院のうち「措置予定」又は「未定」と回答した病院のその後の措置状況について、病院で作成される別紙様式4を踏まえ、別紙様式5を作成し提出して下さい。

② 使用実態調査時以降に措置済みとなった病院については、別紙様式6を作成し提出して下さい。

(3) 未回答の状況

使用実態調査が未回答で引き続き回答がない病院及び今回のフォローアップ調査において、ばく露のおそれがある場所を有する病院で措置状況が未回答の病院については、別紙7を作成し提出して下さい。

2. 調査表の作成要領

(1) 分析調査中の病院及び調査未回答の病院

①別紙様式1及び2について

ア 使用実態調査において、アスベスト含有の分析調査中又は依頼予定であった病院（全都道府県計1,071病院）及び調査未回答であった病院（全都道府県計165病院）について、その後の状況を記載して下さい。

イ 記載方法は、使用実態調査時の調査要領と同じです。

ウ 都道府県においては、病院から提出された別紙様式1（病院個表）を開設者種別ごとに取りまとめ、使用実態調査の結果と合わせて別紙様式2の「総括表」を作成して下さい。

②別紙様式3について

- ・ 開設者種別ごとに、病院数、調査対象病院数を記載するとともに、回答病院、分析調査中の病院及び未回答病院の新旧の数を記載して下さい。

(2) ばく露のおそれがある場所を有する病院

①別紙様式4及び5について

ア 使用実態調査において、アスベスト（石綿）の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがある場所を有する病院のうち「措置予定」又は「未定」と回答した病院（全都道府県計97病院）について、その後の措置状況を記載して下さい。（措置済みの場合も記載すること。）

イ 使用実態調査において、分析調査中の病院及び調査未回答の病院で、ばく露のおそれがある場所を有することが判明した病院について、その措置状況を記載して下さい。

ウ 病院が作成する別紙様式4は次により記載して下さい。

「日常利用する場所」・・・患者又は職員等が常時使用する場所を指すものであること。

「その他の場所」・・・「日常利用する場所」以外の全ての場所を指すものであること。

「患者利用あり」、「患者利用なし」・・・別紙の（参考）による区分により記載するものであること。

「措置予定」・・・工事中及び具体的に工事日程が決まっている場合を指すものであるが、工事日程が決まっているか否かに関わらず、該当場所について利用を停止し封鎖している場合も「措置予定」とするものであり、それらの状況を具体的に記載して下さい。

「未定」・・・「除去等の措置済」及び「措置予定」以外を指すものであり、その理由を具体的に記載して下さい。

エ 都道府県においては、病院から提出された別紙様式4（病院個表）を開設者種別ごとに取りまとめ、別紙様式5の「総括表」を作成して下さい。

オ 別紙様式5の備考欄には、次のいずれかの記号を記載して下さい。

「済」・・・使用実態調査時から「措置状況」が全て「措置済み」となった病院。

「改」・・・使用実態調査時から「措置状況」に更新があった病院。

※更新前の状況も記載してください。また、ばく露のおそれのある場所が複数で、そのうち一部の更新の場合は、「一部改」としその内容を記載して下さい。

「経」・・・使用実態調査時から継続して「措置状況」に変更がない病院。

「新」・・・使用実態調査時に分析調査中及び未回答の病院で、その後、新たに「ばく露のおそれがある場所を有する」ことが判明した病院。

②別紙様式6について

使用実態調査において、アスベスト（石綿）の粉じんの飛散により、ばく露のおそれがある場所を有する病院のうち「措置予定」又は「未定」と回答した病院、分析調査中の病院及び未回答であった病院で、その後に「ばく露のおそれがある場所を有する」と回答があった病院について、措置済みとなった病院名、措置内容、措置終了年月日等を区分ごとに記載して下さい。

(3) 未回答の病院

○別紙様式7について

使用実態調査及び今回のフォローアップ調査を通じて未回答の病院並びに今回のフォローアップ調査において、ばく露のおそれがある場所を有する病院で措置状況が未回答の病院について、開設者別に記載してください。なお、後者については備考欄にその旨記載して下さい。

3. 公表

上記1及び2により提出された調査結果については、使用実態調査で公表した事項に加え、ばく露のおそれがある場所を有する病院で措置状況が「措置済」、「措置予定」又は「未定」の病院及び調査未回答の病院について、その病院名等の公表を予定しているので、その旨を該当病院に周知して下さい。

4. 調査を行う者

調査は、病院の開設者又は管理者において行われるものであり、貴職において該当病院へ依頼した上、適切に調査が行われるよう配慮願います。

5. 調査表提出期限等

○提出期限 平成20年11月14日(金)

調査表の提出に当たっては、Excel等で作成の上、別紙様式2、3、5、6及び7をメールにて提出いただき、別紙様式1及び4の「病院個表」については各都道府県において適切に保存して下さい。

ただし、別紙様式1については、分析調査の結果、トレモライト等のいずれかが含有していることが判明した場合は、アスベストの種類、使用場所等の記載をお願いしていますが、この記載があるものについてはその提出をお願いします。

さらに、使用実態調査、設計図書及び工事記録等既存のアスベスト関連書類に加え、本フォローアップ調査結果についても、各病院開設者又は管理者において適切に保存されるよう指導方をお願いします。

6. 提出先・照会先

厚生労働省医政局指導課 鈴木 (代表03-5253-111 内線2555)、高橋
E-mail: ASBESTOSIRYO@mhlw.go.jp (使用実態調査提出時と同じ)

7. その他

(1) 新たに、ばく露のおそれがある場所を有することが判明した病院については、法令等に基づき適切な措置を講じるよう、引き続き指導方をお願いします。

なお、指導にもかかわらず、法令等に基づき適切な措置を講じない等の病院については、医療法に基づく立入検査実施部門と十分連携の上、必要に応じて改善命令を行うなどの対応を引き続きお願いします。

(2) 吹付けアスベスト等がある場所を有しているが、現在飛散のおそれがない場合であっても、今後、経年変化で吹付けアスベスト層に劣化や損傷が生じたり、露出面にある吹付けアスベスト等をひっかくなどにより破損した際にはアスベスト繊維が飛散するおそれがある状態になることから、吹付けアスベスト等の状態について、飛散のおそれがないかどうか定期的に把握、確認し、必要な措置を講ずる等病院の適切な維持管理、安全管理に努めるよう、引き続き指導方をお願いします。

病院における吹付けアスベスト(石綿)使用実態調査に係るフォローアップ調査表(新旧比較)

都道府県名	
所属課名	
担当者氏名	
電話番号	
E-mail	

開設者種別	全病院数 ①	調査対象病院数 (平成8年度以前 竣工建物) ② (②=③+④+⑤)	回答病院数 (分析調査中を除く) ③		分析調査中の病院数 ④		未回答病院数 ⑤	
			新	旧	新	旧	新	旧
			1 法務省					
2 宮内庁								
3 防衛省								
4 独立行政法人								
5 都道府県								
6 市町村								
7 日赤								
8 済生会								
9 厚生連								
10 北社協								
11 全社連								
12 厚生団								
13 船員保険会								
14 海員被済会								
15 国共連								
16 地共連								
17 私学事業団								
18 健保連								
19 国保連								
20 公益法人								
21 医療法人								
22 社福法人								
23 その他の法人								
24 生協組合								
25 会社								
26 個人								
厚生労働省								
計								

注1)①欄には、使用実態調査の公表時点の病院数を記入して下さい。

注2) 調査対象病院数(②欄)のうち、すでに調査結果の回答のあった病院数を③欄に記入し、分析調査中の病院数は④欄、未回答の病院数は⑤欄にそれぞれ記入して下さい。

注3)③欄、④欄、⑤欄における「新」欄には今回の通知を踏まえ更新したものを記入し、「旧」欄には、使用実態調査の公表時点のものを記入して下さい。

注4)①欄、②欄、③欄は様式2総括表の該当欄の数と、④の「新」欄は様式2総括表のエ、ク、セ欄の合計の数と、⑤の「新」欄は様式7の病院数と一致するものであること。

新たに措置済となった病院名一覧

都道府県名	
所属課名	
担当者氏名	
電話番号	
E-mail	

区分	開設者別種別	病 院 名	措置内容	措置年月日
例 ①	医療法人	〇〇〇〇病院	除去	平成 年 月 日

		計 病院		

注)・新たに措置済となった病院とは、次の区分①～③のいずれかにあてはまる場合をいいます。

- ①アスベスト使用実態調査時に「措置予定」又は「未定」だった病院が、その後措置済となった場合。
- ②アスベスト使用実態調査時に「分析調査中」だった病院が、その後の分析結果により、アスベストのある場所を有し、ばく露のおそれがあったことから措置し、措置済となったことが判明した場合。
- ③アスベスト調査に未回答であった病院が、その後、アスベスト等のある場所を有し、ばく露のおそれがあったことから措置し、措置済となったことが判明した場合。

・この様式の病院数と、様式5の「措置済」の病院数は一致するものであること。

「日常利用場所」「その他の場所」の欄における
1)～19)までの区分

○患者利用あり1)～12)

- 1) 病室
- 2) 手術室
- 3) 診察室
- 4) 処置室
- 5) 機能訓練室
- 6) 食堂
- 7) 談話室
- 8) 浴室
- 9) 廊下
- 10) 待合室
- 11) 駐車場
- 12) その他（具体的に記載）

○患者利用なし13)～19)

- 13) ボイラー室
- 14) エレベータ機械室（エレベータ昇降路を含む）
- 15) 機械室
- 16) 倉庫
- 17) 職員宿舎
- 18) 医療関係職種等養成所
- 19) その他（具体的に記載）